

●財布・スマホなどの紛失を防ぐには

ポケットに入れておいたはずなのに気付かないうちに落としてしまった。あるいはトイレで個室に置き忘れた、というのが定番の紛失パターンで、特にサークル参加者だとサークルスペースの卓上につ置きっぱなしにしてしまったというケースが続く。

ともかくにも、身体から離さなければ失くす可能性は激減する性質のものなので、古典的ではあるものの、リードやチェーン、ロングストラップで身体やバッグに繋ぐのが最も確実だ。100均店などで様々な紛失防止リードが購入できるのでコミケット参加前に用意しておくとういだろう。

それでも紛失や盗難に遭ってしまった際のリスクを分散するために、コミケットの会場で買物に使う財布と、普段使っているカード類なども入っている財布は別にし、本来の財布は会場では出さないようにしておくのも有効だ。この方法なら今回の購入資金以上にお金を使い込んでしまうことも防げる。

●貴重品は肌身離さず

財布、スマホなどは参加時に『定位置』を決め、必ずそこに戻すように心がけることで紛失に気づきやすくなる。ウエストポーチやミニショルダーバッグなどをその定位置と定め、そのバッグは1日中必ず身に付けておくようにするのだ。念には念を入れて、そのバッグやメインの所持品を入れたバッグには紛失時の追跡用のエアタグを入れておくのもありだろう。

●待ち合わせはバッテリーに注意

ほぼ全員が携帯電話を持つようになった現在、待ち合わせでのすれ違いは激減した。しかし、そうであるが故に、一旦携帯電話がバッテリー切れなどで使えない状況になると、一切の連絡手段が無くなってしまいかねないのも現代ならではの。コミケットの1日は普段以上に端末を使用する機会が多くバッテリーの消耗も早い。予備バッテリーは必ず持参するようにしよう。

ただし、高気温下ではバッテリーの発火現象なども起きているため、持参するバッテリーはできるだけ新品を用意し、荷物の中でも直接日射しを受けない場所に収納しておくことが望ましい。

また、何らかの事情で待ち合わせが失敗した際に、会場外でも集合時間や場所を決めておく、個人でも帰宅できるよう前もって帰宅分の交通費は別途持参するなどの取り決めはしておこう。

●トラブルの際には1人で対処しない

何らかのトラブル・アクシデント・犯罪などに巻き込まれた際には、単独（や同行者だけの少人数）で対処しようとしてはいけない。最低限複数のスタッフや、会場警備の警察官などに協力を仰ぐべきだ。何かあったときには即各ホールにある準備会インフォメーションへ相談しよう。

■夏コミ用持ち物リスト■

https://www.comi-navi.com/contents/pdf/bring_list_summer3.jpg



●感染症への注意は終わらない

新型コロナウイルスは未だ感染者を出し続けているため感染症予防の基本対策は常に必要だが、最近急速に感染者を増やしている気になる感染症がある。それが麻疹（ましん）だ。

このウイルスの厄介なところは、感染力が極めて高い点だ。ワクチンを2回接種していればほぼ感染することはないが、抗体を持たない人は感染者と同じ部屋に居たりすれ違っただけで極めて高い確率で罹患してしまう危険がある空気感染ウイルス（当然、飛沫や接触でも感染する）だということだ。幸い日本では麻疹ワクチンは集団接種されているので未接種者は少ないが、念のためコミケット前に自分の母子手帳を確認しておこう。現在60歳未満で麻疹にかかった記録がなく、麻疹ワクチンの接種を2回受けていない人は、免疫が不十分なのでMRワクチン（麻疹・風疹ワクチン）の接種が強く勧められる（日本感染症学会より）。

大切なのは正しい知識を持つこと、感染者と接触した可能性があったら、たとえ自覚症状が無くてもコミケットへの参加は見合わせる事、もし発症が疑われる際には速やかに医療機関に届け出て対応を仰ぐことだ。コミケット前に以下のWebサイトを一読しておくことを勧めたい。

東京都感染症情報センター／麻疹：<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/measles/>